



**MOTOROLA SOLUTIONS**

ja-JP

携帯型双方向無線機に関する RF エネルギー被曝トレーニングと製品安全情報

[https://learning.motorolasolutions.com/User\\_Documentation](https://learning.motorolasolutions.com/User_Documentation)



## 注意

本無線機を使用する前に、本冊子読んで操作手順を確認してください。  
製品の詳細、カタログ、ユーザー マニュアルおよび認定アクセサリの詳細については、[www.motorolasolutions.com](http://www.motorolasolutions.com) を参照してください。

## RF 被曝規格への準拠

国内および国際的な規制により、メーカーは無線機を販売する前に、携帯型業務用無線機の RF エネルギー被曝制限に準拠する必要があります。Motorola Solutions の業務用無線機は、RF 電磁エネルギーの人体への被曝について、国内および国際的な規制に適合するように設計、製造およびテストされています。

一般住民のいる規制されていない環境における **RF エネルギー被曝の認識とその制御に関する情報、および取り扱い方法の説明**

RF エネルギー被曝の詳細については、次の Web サイトを参照してください。

- <https://www.fcc.gov/>
- <https://www.who.int/health-topics/electromagnetic-fields/>

詳細については、<http://responsibility.motorolasolutions.com/index.php/ourapproach/wirelesscommhealth/> を参照してください。

## RF 被曝の準拠と管理のガイドライン

- 本機や関連するアクセサリに RF 被曝ラベルが貼付されている場合、それらのラベルを剥がさないでください。
- 本機を他のユーザーに渡す場合、これらの指示を貼付してください。
- 本書に記載されている使用条件が満たされない場合、本機を使用しないでください。

## 取り扱い説明

- 送信時間は 50% 未満にします。送信 (送話) するには、プッシュトゥトーク (PTT) ボタンを押します。受話するには、PTT ボタンを放します。
- 鼻や唇から 2.5cm (1 インチ) 以上離れた状態でマイク (およびアンテナを含む無線機のその他の部分) を顔が前に来るようにして無線機を垂直にして持ちます。アンテナは、目から離れた状態にしておく必要があります。
- 身体に着用する際には、必ず無線機を本機用の Motorola Solutions 認定クリップ、ホルダー、ホルスタ、ケースまたはボディハーネスに収納してください。
- 無線の送信時にアンテナを持たないでください。

- アンテナが壊れている携帯型無線機は使用しないでください。壊れているアンテナが皮膚に触れると、軽い火傷を負うことがあります。
- 該当する RF 被曝制限を継続的に準拠するには、Motorola Solutions 認定の付属アンテナまたは交換用アンテナ、バッテリーおよびアクセサリのみを使用してください。
- Motorola Solutions 認定アクセサリのリストについては、ユーザー マニュアルを参照するか、[www.motorolasolutions.com](http://www.motorolasolutions.com) にアクセスしてください。

## 聴覚の安全性

音源を問わず、大音量の音に長時間さらされた場合、聴力が一時的または恒久的に影響を受ける場合があります。無線機の音量を大きくすると、すぐに聴力が影響を受けます。大音量による聴覚障害は、最初は自覚症状がない場合があります、その影響は累積的である可能性があります。

聴力を保護するため、次の点をお守りください。

- 必要最低限の音量で使用してください。
- 周囲の音が大きいために聞き取りにくい場合にのみ、音量を上げてください。
- ヘッドセットまたはイヤピースを接続する前に、音量を下げてください。
- 長時間、大音量でヘッドセットやイヤピースを使用しないでください。
- ヘッドセットやイヤピースを使わずに無線機を使用する場合、耳に直接スピーカを当てないでください。

## 医療機器

ペースメーカーや補聴器などの医療機器を装着している場合、その機器が電磁波エネルギーから十分にシールドされているかどうかを機器のメーカーに問い合わせてください。担当の医師からも、このような情報を入手できる場合があります。

## ホルスタに組み込まれている磁石

一部の Motorola Solutions ホルスタには、強力なネオジウム磁石が組み込まれています。ペースメーカーや補聴器などの個人用医療機器を装着している場合、その機器が磁石に近い場所で使用できるかを機器のメーカーに問い合わせてください。担当の医師からも、このような情報を入手できる場合があります。また、磁石はクレジットカード、磁気メディアだけでなく、携帯電話、コンピュータ、ハードドライブ、および他の電子機器を含む、その他の製品を損傷する可能性があることにも注意してください。ホルスタは、磁場の影響を受ける可能性のある機械的なデバイスから離してください。機器または製品が磁石の近くで使用できるかどうかについては、製品のメーカーにお問い合わせください。

## 取り扱い上の警告

以下では取り扱い上の警告について説明します。

### エアバッグ搭載車両での使用



警告：

- エアバッグの配線に対する干渉を避けるため、電子機器を取り付ける前に車両メーカーのマニュアルを参照してください。
- エアバッグの上にあたる部分、またはエアバッグが膨らむ場所に携帯型無線機を置かないでください。エアバッグは強い力で膨らみます。携帯型無線機がエアバッグの膨らむ場所に置かれている場合、エアバッグが膨らむと無線機が強い力で押され、車の搭乗者が負傷する原因となる可能性があります。

### 爆発のおそれのある区域での使用



警告：

- 危険区域に対して認定されていない無線機は、爆発のおそれのある区域に持ち込まないでください。重傷や死亡事故につながるおそれがあります。爆発のおそれのある場所では、危険区域に対して認定された無線機のみを使用する必要があります。
- 「爆発のおそれのある場所」とは、危険なガス、蒸気またはほこりが存在する可能性があり、危険と分類される区域のことを指します。たとえば船舶のデッキの下などにある燃料補給/貯蔵場所、燃料や化学薬品の移送または保管用の施設、空気中に化学薬品や穀物、ほこり、金属粉などの粒子が含まれる場所などが挙げられます。爆発のおそれのある場所では、その旨表示されていることがほとんどですが、表示がない場所もあるのでご注意ください。
- 当該区域では、バッテリーの取り外し、取り付け、充電またはアンテナの取り外し/取り付けは行わないでください。爆発のおそれのある区域で火花が発生すると、爆発または火災が発生し、身体的損傷や死亡につながる可能性があります。

### 雷管の近くおよび発破区域での使用



警告：爆破作業に影響を与えないよう、電子雷管の近く、発破場所または「業務用無線の電源を切る」と表示されている場所では、無線機の電源をお切りください。すべての標識および指示に従ってください。

### バッテリー



注意：Motorola Solutions 認定バッテリーのみを使用してください。

- 適切でないタイプのバッテリーと交換すると、爆発のおそれがあります。
- Motorola Solutions 認定の充電器を使用してバッテリーを充電します。
- バッテリーは、その水/ほこりに対する侵入保護 (IP) 等級に従って使用してください。
- バッテリーを炎の中に破棄しないでください。
- 「危険な環境」と表示されている区域内でバッテリーを交換しないでください。
- 分解、粉碎、穿孔、細断またはその他の方法でバッテリーを変形させないでください。
- 濡れている、または湿っているバッテリーをヘアドライヤーや電子レンジなどの機器や熱源を使用して乾かさないでください。
- 宝石、鍵またはチェーンなどの導体が、露出したバッテリー端子に触れないようにしてください。
- バッテリーを生活廃棄物として廃棄しないでください。

## 電源の安全に関するインストラクション

1. 電源は、IEC/EN/UL 62368-1/60950-1 に準拠した機器で使用してください。
2. 電源は、屋内の乾燥した場所で使用してください。
3. 機器は近くの接続しやすいコンセントにつないでください。
4. 電源が損傷・故障している場合は、修理または使用しないでください。

## 修理



### 警告：

- UL、CSA、CENELEC など認定され、危険区域での使用を認められた Motorola Solutions の無線機製品の修理は、認可団体の修理およびサービス規格に基づいて監査された場所でのみの実施が必要です。
- 危険区域での使用を認められた Motorola Solutions の機器の修理および保守については、Motorola Solutions までお問い合わせください。

修理とは、本機を元の状態に戻すために本機内部に対して実施される作業を指します。

本機の外装筐体を開け、内部電子回路を露出させる必要のない行為は、修理とは見なされません。

## オプションやアクセサリの代用品を使用しない

本質安全防爆認定機関 (UL、CSA、CENELEC) によって本質安全防爆製品であると認定された当社製機器は、リストに掲載される認定機関によって認定された携帯型無線機、認定バッテリーおよび認定アクセサリまたは認定オプションまたは認定アクセサリと認定オプションの両方とによって構成されています。この認定のされた携帯装置と認定バッテリーの組み合わせは、厳密に適合する必要があります。Motorola

Solutions の別の通信機器用として以前に認定されていた部品であっても、これらのもので本機の部品の代用とすることはできません。認定された構成は、認定機関 (UL、CSA、CENELEC) によってリストされています。

本機に貼付されている危険区域での使用認定ラベルには、その無線機の本質安全防爆格付け、および同システムにおいて使用できる認定バッテリーが表示されています。危険区域での使用認定ラベルに記載されるマニュアルの部品番号によって、その無線機に使用することのできる認定アクセサリおよびオプション (またはそのいずれか) が指定されています。

危険区域での使用を認められた Motorola Solutions の無線機に Motorola Solutions 製本質安全防爆バッテリーやアクセサリ以外のものを使用すると、危険区域での使用認定が無効となります。

## 欧州連合 (EU) 電気と電子機器リサイクル法 (WEEE) 指令



欧州連合の WEEE 指令では、EU 諸国に販売される製品 (場合によってはパッケージ) にゴミ箱への投入禁止ラベルを貼ることを要求しています。WEEE 指令で規定されるとおり、このゴミ箱への投入禁止ラベルは、EU 諸国の顧客とエンドユーザーが、電気および電子機器またはアクセサリを生活廃棄物として廃棄してはならないことを意味します。EU 諸国の顧客またはエンドユーザーは、自国の廃棄物収集システムについて、地元の機器販売代理店またはサービス センターに問い合わせる必要があります。

MOTOROLA, MOTO, MOTOROLA SOLUTIONS and the Stylized M logo are trademarks or registered trademarks of Motorola Trademark Holdings, LLC and are used under license. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2014 and 2023 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.

Printed in



**MN001144A01-AE**